

Point



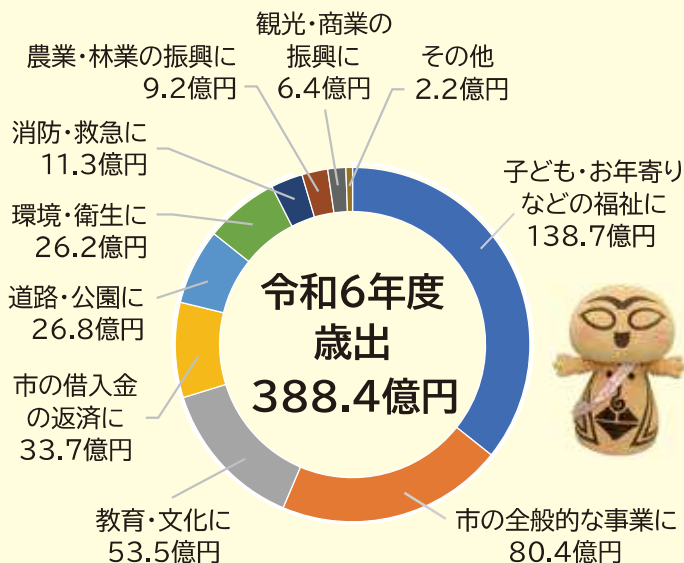
令和6年度は、みなさんの安全で安心できる暮らしを実現するため、物価高騰対策をはじめさまざまな事業に取り組みました。また、シャインマスカットのブランド化や観光資源の発掘など地域の魅力を高める活動、fumotto南アルプスをはじめとする人と人との交流の場づくり、さらに子育て環境の改善など「未来をひらくまちづくり」をめざす取り組みを幅広く行いました。

南アルプス市の一般会計

「一般会計」とは、教育・福祉や道路・公園等の整備など、みなさんの生活に必要な行政サービスに取り組むために使われる市の収入（歳入）や支出（歳出）をまとめた基本的な会計のことです。市の令和6年度の歳入は415.8億円、歳出は388.4億円となりました。

歳入は、ふるさと納税や基金からの繰入金の増加により前年度から4.8%増加しました。歳出は、ふるさと納税の返礼品等の費用のほか、若草小学校の改築工事に関する費用の増加により前年度から3.2%増加しました。

歳入と歳出の差額は27.4億円の黒字となりました。



第2次総合計画にもとづいておこなった主な事業

未来をひらく経営型行政運営の仕組みづくり ▶ 43.7億円

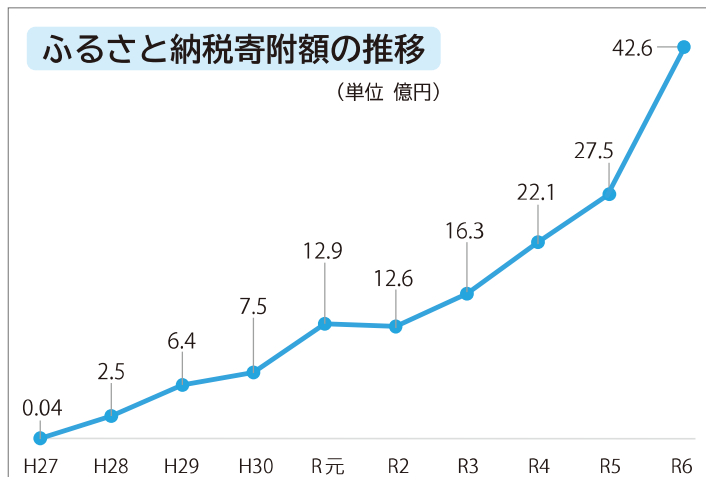
健全な財政の維持

ふるさと納税などの自主財源確保のための取り組みや地方債の償還に備える基金への積立てなど、財政の健全化に取り組みました。

※ふるさと納税がどのような取り組みに活かされているのか詳細は[7ページへ！](#)

ふるさと納税寄附額の推移

(単位 億円)



令和6年度、南アルプス市は「ふるさと納税」で全国のみなさまから42.6億円の寄附をいただきました。

歳入全体に占める割合は10.3%に達しており、市にとって貴重な財源です。これらの寄附金は公園の管理や小中学校の学習環境の整備、防災対策などさまざまな事業を充実させるために役立てていきます。



人気の返礼品シャインマスカット

また、個人の方からだけではなく、「企業版ふるさと納税」として7社から570万円分の寄附をいただきました。これらの寄附金は、本市の「魅力と地域力を高め、住みたい・子育てしたくなるまちづくり」を目指す事業のうち、各企業が特に支援する目標の達成にむけて活用しています。

う るおいと活力のある快適なまちづくり

▶ 43.4億円

企業誘致の推進

fumotto南アルプスの整備や、企業の投資経費への助成金交付など、企業誘致による働く場の充実に取り組みました。

南アルプス IC と fumotto 南アルプス



観光の振興

静岡県・長野県を中心としたプロモーションや南アルプス開山祭をはじめとするイベントの開催など、観光の振興に取り組みました。

南アルプス開山祭



商工業の振興

企業ガイダンスの開催や、物価高騰の影響を受ける地域経済の活性化と市民への生活支援として配布した「元気券」を今年4月から利用できるようにする準備に取り組みました。

農林業の振興

農産物の生産拡大や新規就農者・観光農園の支援、シャインマスカットのブランド化および貴陽・あんぽ柿などのPR活動に取り組みました。

と もに生き支えあう
まちづくり

▶ 134.6億円

子育て支援の充実

交流や相談の場として子育てを支援する拠点の運営や子育てハンドブックのリニューアルなど、子育て支援に取り組みました。子育て支援センターの様子



保育・幼児教育の充実



公立保育所への情報共有システム導入や民間保育施設の整備支援など、保育環境の充実に取り組みました。

公立保育所に導入したタブレット端末

地域福祉の充実

物価高騰対策として非課税世帯等への給付金事業や、福祉総合相談体制の充実などに取り組みました。

安 全でみどり豊かな人がつながる
まちづくり

▶ 20.3億円

自然との共生

小学生を対象とした南アルプスユネスコエコパークに関する学習支援事業や自然の保全活動などに取り組みました。



学習支援の様子

防災体制の整備



各避難所への防災備蓄倉庫の整備やその備品の充実、消防団ポンプ車の更新など、防災体制の整備に取り組みました。

防災備蓄倉庫の備品
プライベートルーム

そ の他 ▶ 101.4億円

公債費 ▶ 33.7億円

地方債（市の借入金）の償還（返済）を行いました。

人件費 ▶ 53.1億円

市職員や市議会議員に給与を支給しました。

その他 ▶ 14.6億円

市役所庁舎の維持管理や定額減税補足給付事業などに必要な経費を支出しました。

お問合せ／財政課 ☎282-6091

心 豊かな人と文化をはぐくむまちづくり ▶ 45.0億円

生涯学習の推進

リニア建設工事による甲西市民総合グラウンドの機能回復工事や電子図書館サービスの導入など、身近な生涯学習の機会をつくることに取り組みました。

学校施設の整備

若草小学校の改築をはじめ、市立小中学校22校の施設・設備の改修や更新に取り組みました。



学校教育の充実

小学校社会科の副読本「わたしたちの南アルプス市」の作成や学びに支援が必要な子どもやその保護者への相談支援など、安心して学校生活を過ごせる環境づくりに取り組みました。



工事後の甲西市民総合グラウンド

南アルプス市の特別会計

南アルプス市の12の特別会計の令和6年度決算額は次のとおりです。(単位 千円)

会計名	歳入	歳出	会計名	歳入	歳出
国民健康保険	6,837,027	6,775,262	芦安恩賜県有財産保護財産区管理会	15,161	1,267
後期高齢者医療	1,873,972	1,871,817	中尾山外一字恩賜県有財産保護財産区管理会	5,584	328
介護保険	6,503,204	6,381,011	高尾山外一字恩賜県有財産保護財産区管理会	9,121	1,317
居宅介護予防支援事業	12,185	10,511	城山外一字恩賜県有財産保護財産区管理会	2,090	266
温泉給湯事業	2,713	2,713	雨鳴山恩賜県有財産保護財産区管理会	675	146
山梨県北岳山荘管理事業	94,485	86,633	土地取得造成事業	1,470,460	1,213,693

「特別会計」とは、特定の事業を行うために、特定の収入で運営する会計のことです。市の仕事はとても幅広く、1つの会計（お財布）にまとめてしまうと、お金の流れや使い道が分かりにくくなってしまいます。そこで、使い道が決まっているお金は「一般会計」と区別して事業ごとに管理しています。市では、国民健康保険や介護保険の運営など目的や財源が決まっている12の特別会計を置き、市民のみなさんに役立つ事業を進めています。

南アルプス市の企業会計

南アルプス市の2つの企業会計の令和6年度決算額は次のとおりです。

		収入	支出
水道事業	収益的収支	1,610,194	1,377,219
	資本的収支	649,660	1,552,599
下水道事業	収益的収支	1,879,812	1,608,088
	資本的収支	1,640,478	2,021,543

「企業会計」とは、水道事業や下水道事業など、地域住民の生活に必要なサービスを提供するために市が経営している公営企業の会計のことです。公営企業は民間企業と同じように費用や収益を経理しているため、市の一般会計・特別会計からは独立しています。

令和6年度決算について、もっと知りたい方はこちらへ



【市ホームページ】

南アルプス市の財政は、今年も元気です!!

みなさんが毎年健康診断を受けるように、地方公共団体も年に一度、財政状況の診断を受けています。その結果、令和6年度決算による南アルプス市の財政状況は良好で、健全な状態が続いています!

すべての指標において、比率が低いほど、財政状況は健全であると言えます。



健全化判断比率	実質赤字比率	一般会計の実質赤字額が、市税などの収入に対して、どれくらい大きいかを示す指標です。
	連結実質赤字比率	一般会計に加えて、国民健康保険などの特別会計や水道事業などの公営企業会計を含めた実質赤字額が、市税などの収入に対して、どれくらい大きいかを示す指標です。
	実質公債費比率	市の借金の返済額が、市税などの収入に対して、どれくらい大きいかを示す指標です。
	将来負担比率	市が将来的に負担する可能性のある借金や債務が、市税などの収入に対して、どれくらい大きいかを示す指標です。
資金不足比率		水道事業や下水道事業などの公営企業において、必要な支出に対して資金が足りない額が、料金収入などの収益力（事業規模）に対して、どれくらい大きいかを示す指標です。

これらの基準値を超えると、「財政健全化計画」や「財政再生計画」を策定し、財政の立て直しを図る必要があります。



<診断の結果>

すべての指標において、国が設定した基準値を下回っており、財政状況は良好です。

市の状況						国の基準	
区分	R2 算定数値	R3 算定数値	R4 算定数値	R5 算定数値	R6 算定数値	早期健全化・ 経営健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	— (※)	—	—	—	—	12.41%	20.00%
連結実質赤字比率	—	—	—	—	—	17.41%	30.00%
実質公債費比率	3.7%	3.7%	3.8%	4.6%	4.9%	25.0%	35.0%
将来負担比率	—	—	—	—	—	350.0%	
資金不足比率	—	—	—	—	—	20.0%	

(※) 比率が算定されない(黒字である) 場合、「—」を記載しています。